

環境経営レポート

第三版

2023年7月1日～2024年6月30日



発行日:2024年7月31日

株式会社 肥後建設社

目次

1. 組織の概要	p.	1
2. 認証・登録の対象範囲	p.	2
3. 環境経営方針	p.	3
4. 環境経営目標	p.	4
5. 環境経営計画	p.	5
6. 環境経営目標の実績	p.	6
7. 環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	p.	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	p.	8
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	p.	8
環境活動の紹介	p.	8

1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 肥後建設社
代表者氏名 代表取締役 轟木 哲也
- 2) 所在地 本 社 〒869-2506 熊本県阿蘇郡小国町大字上田3217
倉庫 〒869-2506 熊本県阿蘇郡小国町大字上田2955-1
資材置場 〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原547-1
農園 〒869-2506 熊本県阿蘇郡小国町大字上田3041
- 3) 環境管理責任者 業務課 松岡(陽)
担当者 所属/役職 寺尾(絵)
連絡先 TEL 0967-46-2264 FAX 0967-46-3731
Eメールアドレス info@higo-aso.jp
- 4) 事業の内容 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業
熊本県知事許可(特-1) 第1909号
農業(ラズベリー栽培)
- 5) 事業の規模 総売上額:1200百万円(2023 年度)
- | | 単位 | 事務所 | 倉庫 | 資材置場 | 農園 |
|------|----------------|-----|------|------|------|
| 従業員数 | 人 | 29 | 0 | 0 | 0 |
| 延床面積 | m ² | 100 | 2500 | 5000 | 3000 |
- 6) 事業年度 7月～翌年6月

2. 認証・登録の対象範囲

土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、農業
本社、倉庫、資材置場、農園

環境経営方針

株式会社肥後建設社は、地域住民の安心安全便利をつくる
インフラ整備を通して、地域社会発展へ貢献していきます

また、地域の資源である自然環境への配慮に真摯に取り組み、
縁ある全ての人々が幸せになれるような環境活動を推進します。

1. 次の項目を重点項目として継続して取り組みます。

(1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、
二酸化炭素排出量を削減します。

(2) 一般・産業廃棄物排出量を削減します。

(3) 節水に努め、水使用量を削減します。

(4) 道路グリーンボランティアを実施し地域に貢献します。

2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

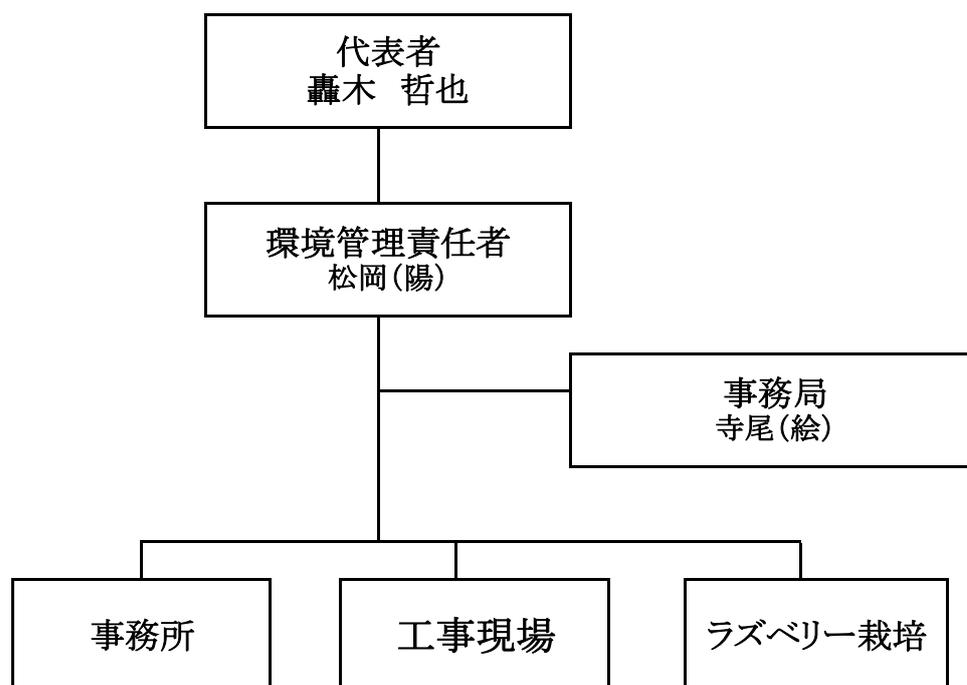
3. 私たちはこの活動を通して、
環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

制定日 2022年 9月 15日

株式会社 肥後建設社

代表取締役 **轟木 哲也**

・ E A 2 1 推進体制



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定 ・環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・目標管理票の作成と進捗管理 ・目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・環境コミュニケーションの総括窓口 ・教育・訓練の総括(緊急事態の想定、訓練含む)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計表作成 ・文書、記録作成 ・環境活動進捗の把握
事務所責任者 部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の社員への周知 ・環境管理責任者への報告 ・改善提案のまとめと提言
社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の実施 ・部門責任者への報告 ・改善提案

4. 環境経営目標

活動期間(2023年7月～2024年6月)

	単位	基準年 2021年度	目標			
			2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (3%削減)	2025年度 (4%削減)
		2021年7月～ 2022年6月	2022年7月～ 2023年6月	2023年7月～ 2024年6月	2024年7月～ 2025年6月	2025年7月～ 2026年6月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	253,842.0	251,303.5	248,765	246,227	243,688
(1) 電気使用量削減	kWh	42,427	42,002.3	41,578	41,154	40,730
事務所	kWh	9,619	9,522.8	9,427	9,330	9,234
倉庫	kWh	5,370	5,316.0	5,262	5,209	5,155
現場	kWh	26,636	26,369.6	26,103	25,837	25,571
農園	kWh	802	794.0	786	778	770
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	—	—	—	—	—
現場	ℓ	13,684	13,547.2	13,410	13,273	13,137
(2) 軽油使用量削減	ℓ	—	—	—	—	—
現場	ℓ	79,654	78,857.0	78,061	77,264	76,467
2. 廃棄物排出量の削減	t	—	—	—	—	—
一般廃棄物排出量の削減	kg	192	190.1	188	186	184
産業廃棄物リサイクル率	%	100	100.0	100	100	100
3. 水使用量の削減	m ³	257.0	254.4	252	249	247
4. 地域貢献活動の推進 (道路クリーンボランティア)	回	2	2	2	2	2

備考

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.391kg-CO₂/kWh(九州電力 2021年度・調整後)を使用した。

5.環境経営計画

項目	具体的な活動	頻度	事務所	工事現場	ラズベリー栽培
1. 二酸化炭素排出量 1-1. 電気使用量の削減	①昼休みの消灯	毎日	○	○	環境負荷は電力のみであり、その他ほぼ「ゼロ」である。 必要最低限の電力使用（省エネ）、必要に応じて、省資源（ごみの持ち帰りなど）を実施した。 清掃活動を実施した。 活動の評価は、「○」と判断した。
	②使用時以外のトイレの消灯	毎日	○	—	
	③OA機器, 空調機の退社時の電源オフ	毎日	△	—	
	④空調機の室内温度設定・実施の徹底	毎日	○	△	
	⑤空調機フィルターの定期的清掃	年1回	△	△	
	⑥日よけ、ブラインドによる室温上昇防止（夏季）	毎日	○	○	
	⑧節電表示の徹底	毎日	○	×	
1-2 ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	△	×	
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	△	△	
	③ICT施工を増やす	将来	—	△	
	④社用車の車両別燃費の把握	毎月	×	×	
1-3. 軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底（アイドリングストップ、経済運転など）	毎日	-	×	
	②車両点検の実施（車の状況、タイヤ空気圧チェックなど）	毎日	-	△	
	③低燃費代車を増やす	将来	—	—	
	④社用車の車両別燃費の把握	適時	—	—	
2. 廃棄物のリサイクル化と廃棄物排出量の削減 （一般・産廃共通）	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○	
	②リサイクル促進	毎月	△	△	
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○	
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	△	
3. 水使用量の削減	①節水ステッカー表示	毎日	△	—	
	②節水の工夫と実施（適量の給湯、出しっ放し防止など）	毎日	△	—	
4. 地域貢献	①地域清掃活動	年2回	○	—	

評価基準
 ○：出来た
 △：改善の余地あり
 ×：出来なかった

6. 環境経営目標の実績

活動期間(2023年7月～2024年6月)

	単位	基準年 2021年度	2023年7月～2024年6月			
			目標	実績	差異	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	253,842.0	248,765	254,987	6,222	
(1) 電気使用量削減	kWh	42,427	41,578	42,424	846	
本社	kWh	9,619	9,427	9,618	191	大幅に減少している項目も多いが、受注現場数に よっての変動幅が大きいため参考程度と考える
倉庫	kWh	5,370	5,262	5,369	107	
現場	kWh	26,636	26,103	26,635	532	
農園	kWh	802	786	802	16	気温が高かったので換気扇の稼働率が高かった
(2) ガソリン使用量削減		—	—	—	—	—
現場	ℓ	13,684	13,410	22,930	9,520	施工場所や施工内容によって変化が著しい
(2) 軽油使用量削減		—	—	—	—	—
現場	ℓ	79,654	78,061	75,820	-2,241	
2. 廃棄物排出量の削減	t	—	—	—	—	—
一般廃棄物排出量の削減	kg	192	188	192	4	意識的なリサイクルの徹底が功を奏したと思われる
産業廃棄物排リサイクル率	%	100	100	100	0	全量リサイクルを継続するべく努力する。
3. 水使用量の削減	m ³	257.0	252	271	19	車両の追加購入に伴う洗車の増加が原因であろう
6. 地域貢献活動の推進	回	2	2	2	0	環境ボランティアは実施した。

※二酸化炭素排出量の計算で使用した排出係数は、0.391kg-CO₂/kWh(九州電力 2021年度・調整後)を使用した。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況			1年間の評価	次年度の取組計画
		7月	11月	2月		
電気使用量削減	使用しない照明の消灯	△	○	○	気象の変化により、車両のアイドリング状態が目立つ。	周知の徹底と意識の向上を課題として。活動目標の達成に向けて取り組む
	節電ポスターなどによる啓発	○	○	○		
ガソリン、軽油使用量削減	ゆっくり発進	○	○	△		
	アイドリングストップの励行	○	△	△		
	適切な積載量、作業負荷	○	○	○		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況			1年間の評価	次年度の取組計画
		7月	11月	2月		
一般廃棄物	可能な限り分別、リサイクルする	○	○	○	概ね達成できた。	現状維持にとどまらず、可能な限り削減できるよう努力する
産業廃棄物	リサイクル率100%を維持	○	○	○		

3. 水使用量削減

活動項目		実施状況			1年間の評価	次年度の取組計画
		7月	11月	2月		
	水の出す勢いを弱めにする	○	○	○	概ね達成できた。	更に使用量を削減できるよう取り組む。
	洗車などの際はこまめに止める	○	○	○		

4. 地域貢献活動の推進

活動項目		実施状況			1年間の評価	次年度の取組計画
		7月	11月	2月		
	現状のロードクリーンボランティアを継続	○	-	-	達成できた。	今後も継続していくことはもとより、ボランティアの質の向上も視野にいれて取り組む。

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	工事で排出する特定産業廃棄物の再資源化の実施
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
浄化槽法	点検・清掃、及び法定点検の実施
フロン排出抑制法	特定施設の定期点検、適切な廃棄

令和6年6月27日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

全体の評価

当社は環境保全に取り組むことを重要な社会的責任と考えています。今年度は温室効果ガス削減などの環境目標を設定し、全力で取り組んできました。その結果、多くの目標を達成することができましたが、中には未達成の項目もありました。

今回の未達成項目については、どのような理由で達成できなかったのか、どのような改善点があるのかを具体的に検証し、来年度の取り組みに活かしていきます。

私たち肥後建設社は、企業として社会的責任を果たすために、今後も社員や取引先、地域社会の皆様と共に、地球環境の保全に貢献し、持続可能な経営を推進していきます。

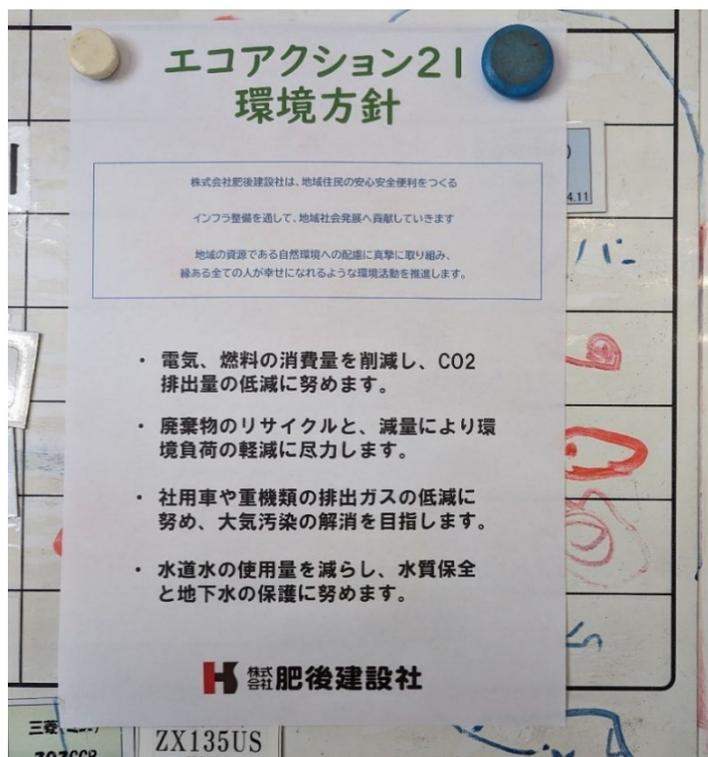
見直し事項

No.	環境マネジメントシステムの見直し事項	見直し結果	改善内容	期限
1	環境経営方針の変更 の必要性	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。		
2	環境経営目標の変更 の必要性	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。		
3	環境経営計画の変更 の必要性	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。		
4	実施体制の変更 の必要性	今回は運用開始してまもないので 変更の必要性なしと判断する。		

環境活動の紹介



節電、節水喚起の一例



ポスターによる意識向上